

千葉県社保協通信

2019年度 — No1 2019年 6月 22日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉セカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

チャンスのとき !! 安倍退陣の風 吹かそう “憲法守れ” 地域からの共同さらに

千葉県社保協 第25回定期総会

千葉県社保協は、6月15日(土)千葉市内で第25回定期総会を開催。12団体・12地域社保協62人が出席しました。“いかそう憲法9条・25条” “社保協活動の真価が問われるとき” 総会では、情勢をしっかりとらえ、学習を深め、地域住民のくらしの実態からの声を、国と自治体に届け憲法が生きる平和で豊かな社会、ひとりひとりの人権が保障される社会をつくるため、奮闘することを確認しました

開会のあいさつは大石武夫副会長。「100年安心の年金」と言いながら、年金を削減し続ける安倍政権への不安と怒りが広がるいま “参議院選挙こそチャンス” こんないい加減な政治を終わりにしよう」と話しました。

つづいて、来賓の日本共産党みわ由美県議員が「国保や障害者医療助成の改善など、ともに運動をさらに発展させ、県議会でも力を尽くしたい」と激励と連帯のあいさつをしました。

藤田まつ子事務局長は「社会保障の在り方や財源問題などの学習・宣伝を重視、住民の生活実態から国と自治体へ声を届け医療、介護、障害者や高齢者福祉など社会保障施策の改善充実と自治体本来の役割の発揮を求めてきた」と活動報告。

「世代間の対立をあおりつつ、高齢者と子育て世代とを分断する安倍政権の政策の嘘と本質を見抜き、国と県、市町村に対して地域住民との連帯・共同した運動を強めよう」「地域から運動を広げるためには地域社保協の果たす役割は大きい」「地域社保協の強化とあらたな地域社保協づくりを」と強調しました。団体・地域からは5人が発言。



決算報告・予算案提案は矢澤純副会長

●連帯のあいさつ・メッセージ ありがとうございました

- *中央社会保障推進協議会
- *東京社会保障推進協議会
- *神奈川県社会保障推進協議会
- *埼玉県社会保障推進協議会
- *山梨県社会保障推進協議会
- *茨城県社会保障推進協議会
- *群馬県社会保障推進協議会
- *千葉県母親連絡会
- *NPO法人千葉県腎臓病協議会
- *水野ゆうき 県議会議員(千翔会)
- *みわ由美 日本共産党県議会議員



総会終了後、67人参加で

「社会保障の充実を求めるキャラバン」に向けての事前学習会を行いました。

●団体・地域からの報告と発言●

- *野田女児虐待死事件の背景～今こそ巨大開発より福祉第一の県政へ → 千葉県職員労働組合 齋藤実さん
- *65歳を迎える障害者共通の問題 ～天海訴訟の意義と経過 → 天海訴訟を支援する会 織瀬建史さん
- *人権を踏みこじる生活保護基準引き下げ許さずな～各地で要求運動前進
→千葉県生活と健康を守る会連合会 高野秀純さん
- *介護・障害者施設で働く職員の労働条件改善を求めて → 千葉県医療労働組合連合会 永島達哉さん
- *銚子市に念願の地域社保協結成～市民サービス切り捨て許さずのち・暮らしを守る財政再建を
→社会保障推進銚子市協議会 武田清春さん